

<新規> ものづくり山形の価値を高める集中支援事業

2019/10/18
山形県企業振興公社

【1.目的】

本県発展の源泉である”類まれな技能・技術を有するものづくり企業”的競争力を飛躍的に高め、未来にわたり勝ち残っていくため

3.目標

本県の基幹産業であるものづくりの付加価値向上の加速化による地域の持続的発展
「小さくともキラリと光るものづくり企業100社」の成長戦略の構築と実践

「これまでのやり方では生き残れない」

【2.背景】

- 経済のグローバル化による競争の激化
- 第四次産業革命による大きな社会変革
- 少子高齢化による人手不足の深刻化
- 事業所数の減少と後継者不足の顕在化など

(cf.山形県工業統計等のデータ)

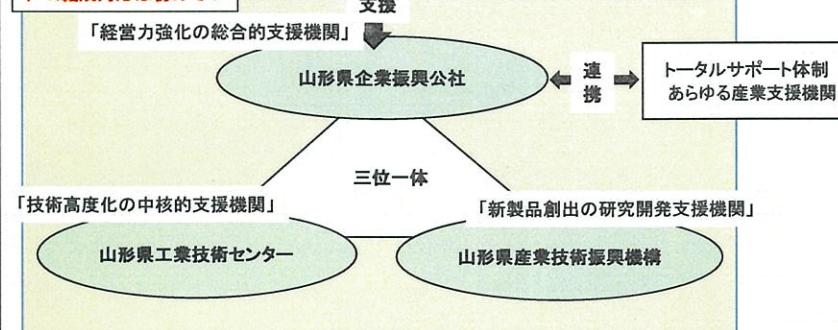
- 事業所数 (2007) 3,246 → (2016) 2,496 (▲23%)
- 従業者数 (2007) 118,382 → (2016) 98,974 (▲16%)
- 製品等出荷額 (2007) 3兆2061億円 → (2016) 2兆6634億円 (▲17%)
- 付加価値額 (2007) 1兆1488億円 → (2016) 9298億円 (▲19%)
- 県内企業60歳以上の経営者割合 57% (全国10位)

【5.推進体制イメージ】

“本県産業のけん引役”

“小さくともキラリと光る企業”へのワンストップ・トータル支援
～選ばれし、地域の宝を次代につなぐ～

チーム編成対応は初めて！



【6.事業ターゲットイメージ】

山形県の産業発展の源泉はものづくり。その大宗を占める中小企業の活力アップが今こそ必要。
ヒト・モノ・カネ・情報に乏しい中小企業。特に”小さくともキラリと光る企業”的生き残りを支援する。
これはスゴイ！これは残すべき宝！これらが山形の進化＝イノベーションの源泉！

cf.2017山形県の工業

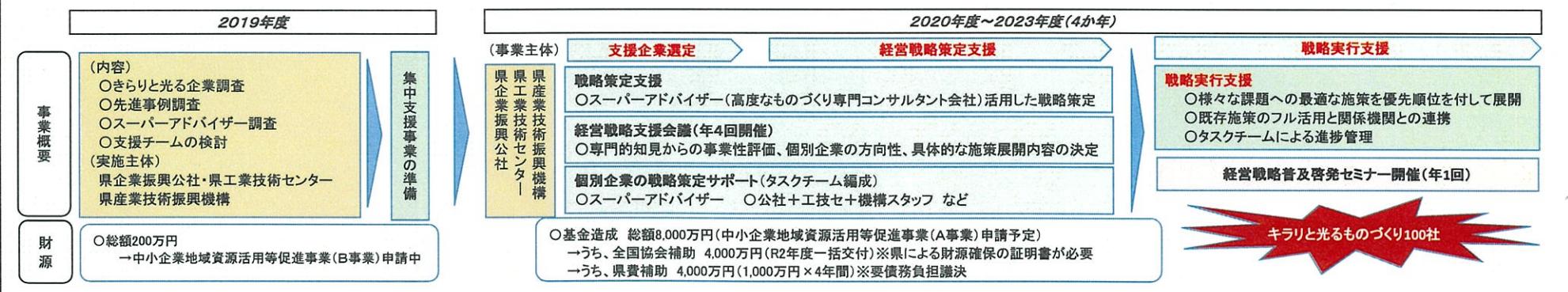
	中小企業				大企業 目指す将来
	小規模4~19名 1435社(58%)	20~49名 609社(24%)	50~99名 248社(10%)	100~299名 149社(6%)	
下請型			既存の支援メニュー		× 現状維持
下請内自立・提案型	◎	◎	○	○	× 下請けの取引地位アップ 製品企画から参画 新たな取引先の開拓
自立型	◎	◎	○	○	× 自社製品の開発 新分野への参入
設計開発型	◎	◎	◎	◎	× 新たな自社製品の 国内・海外の市場開拓

優先順位1
戦略策定

優先順位2
戦略策定

新たな自社製品のマーケット獲得

【7.事業フロー】

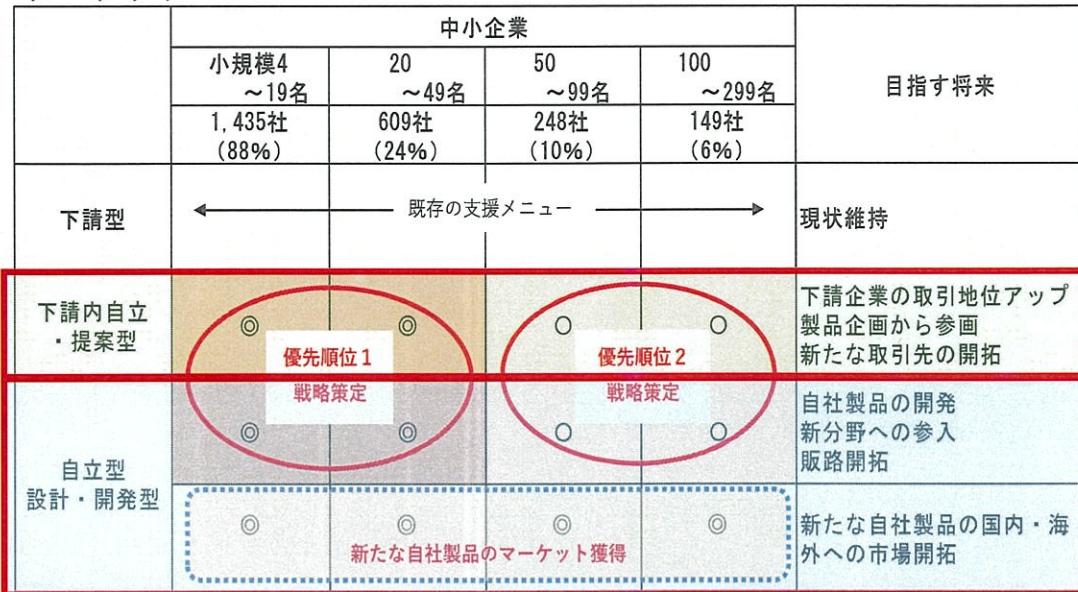


ものづくり山形の価値を高める集中支援事業

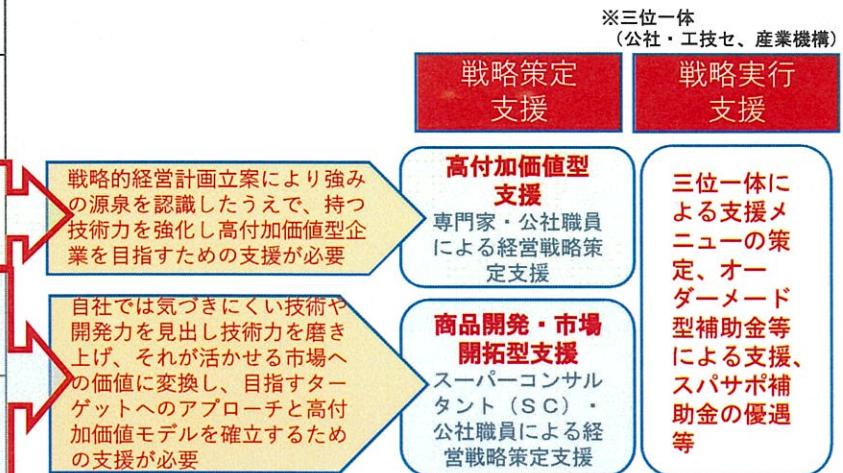
中小企業地域資源活用等促進事業 実施にかかる全体像（イメージ）

◆支援ターゲットと支援施策

ターゲット



支援施策



◆事業の流れ

